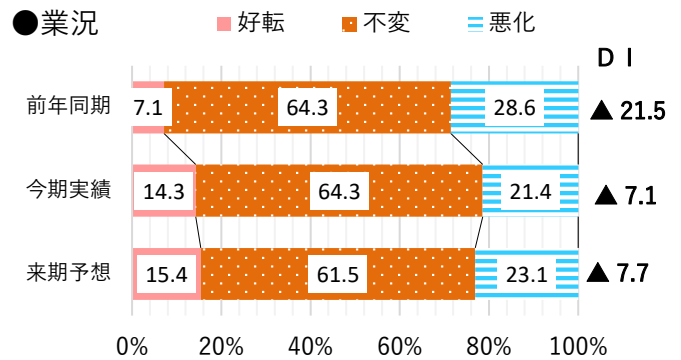


卸 売 業

業況、売上、採算

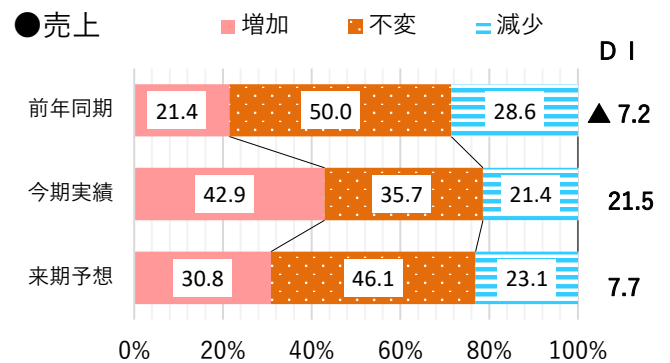
今期（2026.7～9）の業況DIは▲7.1で、前年同期（2025.7～9）と比べ14.4ポイント上昇しました。

来期（2026.10～12）の業況DIは▲7.7で、今期（2026.7～9）と比べ0.6ポイント低下すると予想しています。



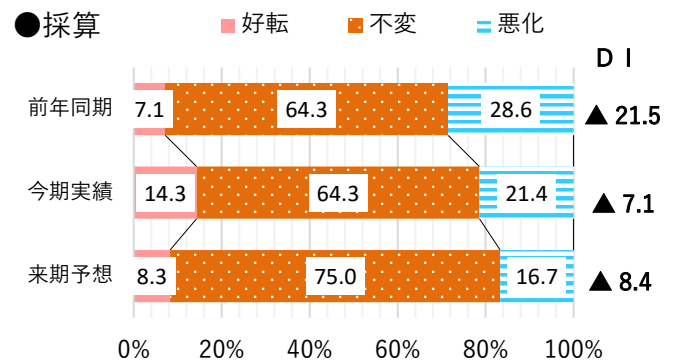
今期の売上DIは21.5で、前年同期と比べ28.7ポイント上昇しました。

来期の売上DIは7.7で、今期と比べ13.8ポイント低下すると予想しています。

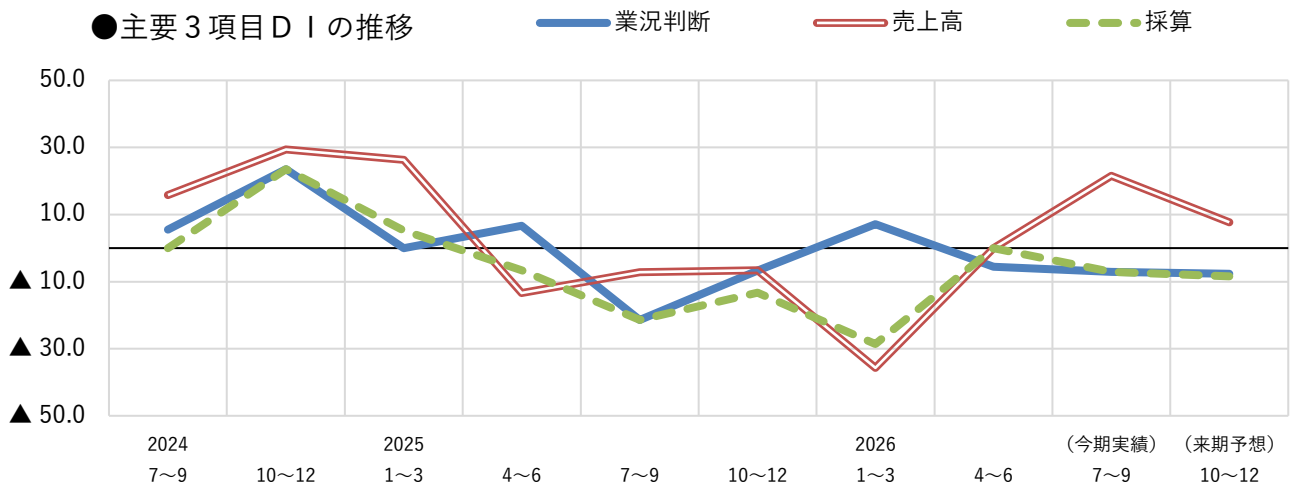


今期の採算DIは▲7.1で、前年同期と比べ14.4ポイント上昇しました。

来期の採算DIは▲8.4で、今期と比べ1.3ポイント低下すると予想しています。



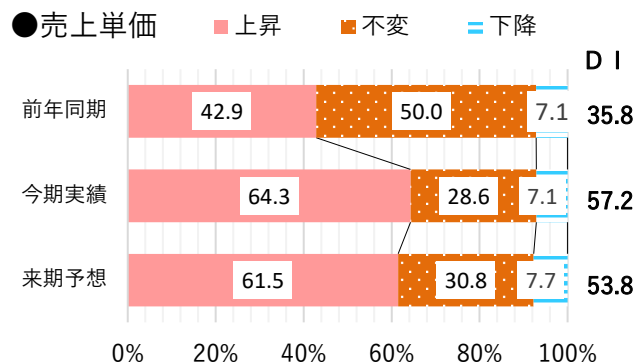
●主要 3 項目 D I の推移



売上単価、商品仕入単価

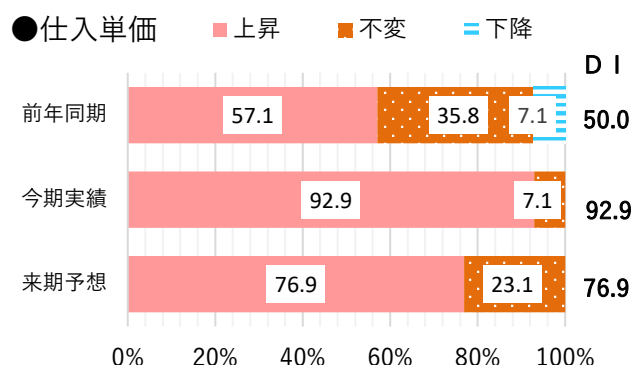
今期の売上単価DIは57.2で、前年同期と比べ21.4ポイント上昇しました。

来期の売上単価DIは53.8で、今期と比べ3.4ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは92.9で、前年同期と比べ42.9ポイントと大幅に上昇しました。

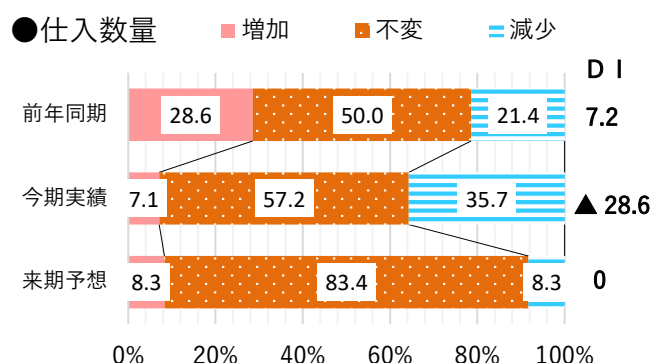
来期の仕入単価DIは76.9で、今期と比べ16.0ポイント低下すると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

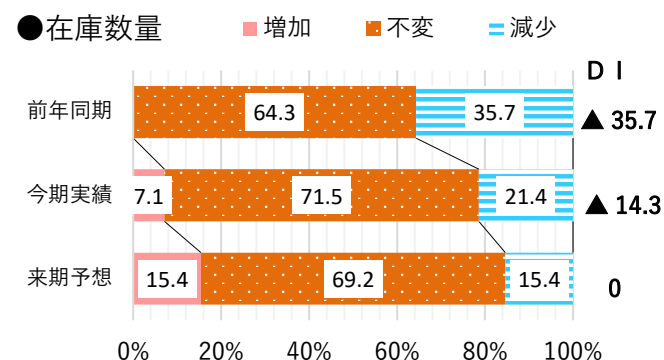
今期の仕入数量DIは▲28.6で、前年同期と比べ35.8ポイントと大幅に低下しました。

来期の仕入数量DIは0で、今期と比べ28.6ポイント上昇すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲14.3で、前年同期と比べ21.4ポイント上昇しました。

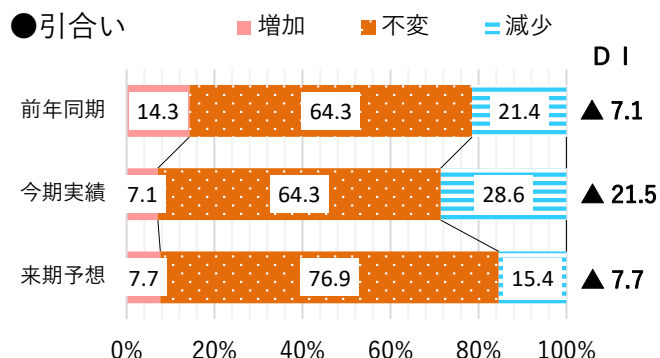
来期の在庫数量DIは0で、今期と比べ14.3ポイント上昇すると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲21.5で、前年同期と比べ14.4ポイント低下しました。

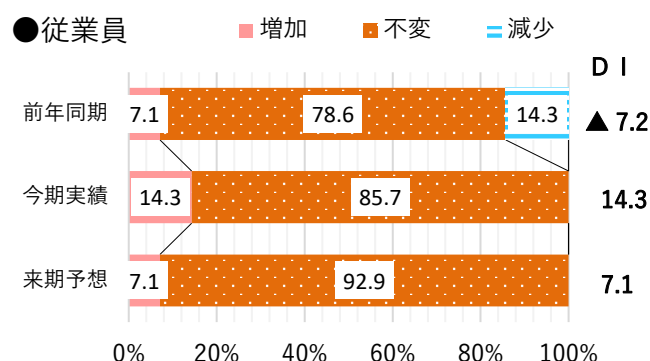
来期の引合いDIは▲7.7で、今期と比べ13.8ポイント上昇すると予想しています。



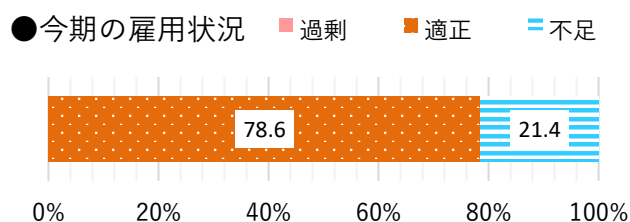
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは14.3で、前年同期と比べ21.5ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは7.1で、今期と比べ7.2ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は78.6%、不足していると回答した企業の割合は21.4%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、78.6%を占めました。

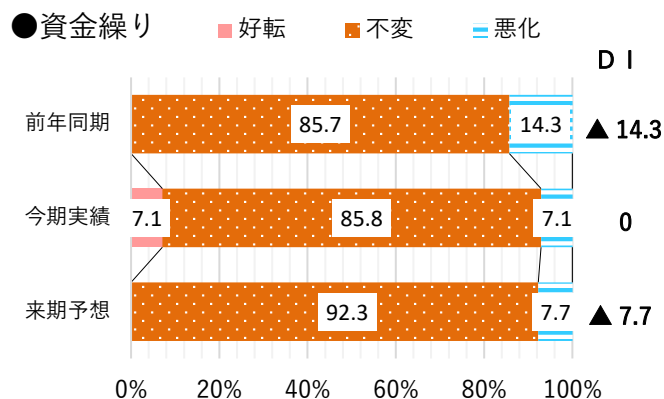
従業員数変化	雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	14.3%
不変だった	過剰	0%
	適正	78.6%
	不足	7.1%
減少した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	0%

※回答総数14社

資金繰り、設備投資

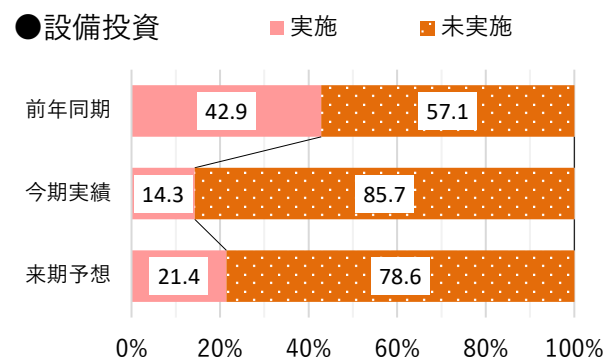
今期の資金繰りDIは0で、前年同期と比べ14.3ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは▲7.7で、今期と比べ7.7ポイント低下すると予想しています。



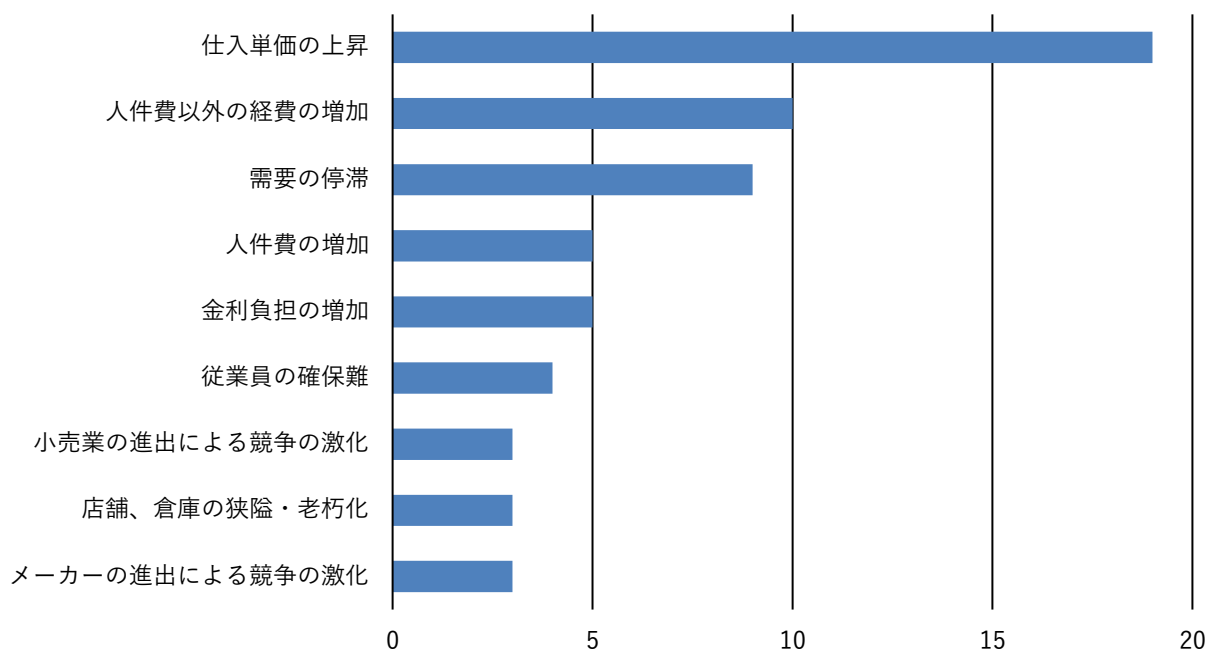
今期の設備投資は14.3%が実施と回答し、前年同期と比べ28.6%低下しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」でした。

来期は21.4%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「需要の停滞」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 春からの中東情勢の影響で各品目の仕入単価は上昇したものの、春先の欠品は最小限に抑えられ、売上は好調に推移した。しかし、夏に入ってからは大工工事の進捗が悪く、全体として低調な状況となっている。（建築材料）
- 新幹線、泊発電所関連の工事の需要が続いている。（建築材料）
- 車両用オイル関係の品物に関して不足や欠品が目立った。（自動車部品）
- 売上額が減少した。（事務用品）
- 価格単価が増加したので売上額が増加した。（鉱物・金属材料卸売）
- 人件費が増加し業況が悪化した。（石油卸売）

[来期の業況について]

- 値上げや資材の不足等はかなり落ち着いたが全体的な物価高の影響で市況はかなり冷えこむと予想する。
（建築材料）
- 泊発電所関係の工事は継続するが、新幹線関連の工事需要が減少するので売上は減少を見込む。
（建築材料）
- 依然として引き合いも少なく苦戦は必至である。新幹線延伸の具体的なスケジュールが出てくるなどの起爆剤が欲しい。（鉱物・金属材料卸売）
- 仕入価格が安定すると予測する。（石油卸売）